

できてるかな？
認知症患者を介護する家族の支援

居宅介護支援事業所あつぷる

安倍 一雄

ケース概要

- ・認知症のある母親を支える娘夫婦の支援について
- ・家族は本人を大切にしている。
- ・認知症の症状に困惑しており、発症前の本人とのギャップを埋められない。
- ・サービスを提案するが、家族の不安は解消されていない
- ・ケアマネとして、本人を介護する家族をどう支えていくか？

E・Sさん 女性 90歳 アルツハイマー型認知症

- ・娘さん夫婦と同居、孫と4人暮らし。
- ・3年前アルツハイマー型認知症と診断を受ける。
- ・面倒見の良い、何事もきちっとした性格であった。
- ・家族や周囲の方に慕われていた。
- ・A D L 自立。毎日のように散歩している。

E・Sさん 認知症周辺症状

- ・食べたことを忘れてしまう。「食べたよ」で納得はする
- ・庭の草木の手入れを行うが、植物の判別がつかず、全部抜いてしまう。
- ・散歩に行くが回数が増えた。本人は行ったことも忘れてしまう。
- ・着替えを間違える。
- ・お金（少額） 自宅鍵などは管理している。

E・Sさん 主訴

本人：私は特に困っていないけどね。もう、何をしたいということもないけど
物忘れはすることもあるのかしらね～

家族：あんなにしっかりしていた母が、忘れて何もできなくなった。
なるべく私達で看たいが、家を出て帰ってこれなくなったら。。
何回も同じこと言うのに疲れてきている。なんとかしたいけど、
どうしていいかわからない。母にとって何すればよいのかわからない。
ついつい、大声で叱責してしまことがある。
後で自己嫌悪に陥っている。



※イメージ

家族の思い

- 思いのある母にはいつまでも自宅で家族と一緒に暮らしてほしい。
- 家族として見ていきたいが、発症前の本人とギャップがあり、対応に疲れてきている。
- ついつい大声で注意してしまう。病気は理解しているはずなのに。。自己嫌悪になる。
- 最近は散歩に行く回数が増えた。いつか帰ってこれなくなるのではないかと心配。
- 準備してもいつも同じ服を着てしまう。それをみると落ち込んでしまう。

ケアマネとしての支援

- ・娘夫婦、お孫さんは本人の介護に真摯に向き合い、認知症の症状に悩んでいる。
- ・自宅での支援は大変。安心できるよう
「みんなそうですよ。本人は悪気はない。受け入れることが大事」と毎度話をする。
- ・「家に帰ってこれなくなったらどうしよう」に、近所で知り合いのいるなじみのある
短時間デイサービスを提案した。
- ・今もデイサービスに通い、徘徊のリスクは若干軽減しているが。
家族は今も困惑し、浮かない表情を見せるが、相談することは減っている。